4/21 バスで巡る復興への歩み
The Day Project Meeting Vol.2 南阿蘇観光復興バスツアー

バスツアー出発前の参加者の皆さん

復興イベント「The Day Project Meeting Vol.2」が、村観光事業者などで構成される「南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会」の主催で行われました。

昨年も開催されたイベントの第2弾として、今年はバスツアーを実施。当日は約150人が村、県内外から集まり、5台のバスに分乗して役場庁舎から出発すると、被災した村事業者や東海大学生などのガイドで村内各所の被害の現状や復興の様子を見て回ったほか、足湯やアウトドア、いちご狩りなどを体験。ツアー後には夕食交流会も行われ、村への想いと時間を共有するイベントとなりました。

4/15 日頃から役立つ備えを
防災対策イベント「暮らしの中の防災」

停電時に使える簡易照明の作り方を学ぶ参加者

熊本地震の教訓を生かし、個人の防災力と意識の向上を目的とした防災対策イベントが、モンベル南阿蘇店で開催されました。同イベントは、阿蘇広域消防本部とモンベル南阿蘇店の共催のもと、村主催で実施。

当日は36人が参加し、モンベル職員を講師に「災害時に役立つアウトドアの技術」としてロープの結び方や停電対策を学んだほか、消防署員から心肺蘇生法や止血、骨折固定法、搬送術など、救命救急に関する講習を受けました。

村主催の防災イベントは、今後も随時計画、開催される予定です。

4/25 笑いと学びは元気の源
平成30年度南阿蘇村高齢者学級開講式・第1回学級

三遊亭わん丈氏の落語を聞く受講者の皆さん

村高齢者学級の開講式及び第1回学級が久木野総合センターで行われ、60歳以上の村内老人クラブ会員232人の受講者が出席しました。

開講式に続いて行われた第1回学級では、おおいた観光特使で県南落語組合会長の矢野大和氏が「元気でいるために大切なのは、人から必要とされること」と身近な例え話を交えて講演。続いて江戸落語家の三遊亭わん丈氏が落語を演じ、会場には絶えず大きな笑い声と拍手が響いていました。

4/21 道路沿いにきれいな花壇
南陽建設による花植えボランティア

防草シートを張り、花を植える
南陽建設の皆さん

株式会社南陽建設（古沢隆社長）の従業員の皆さんにより、国道325号線沿いの花壇に、たくさんの花が植栽されました。

同社は毎年4月にボランティアで花植えを行っており、今年は熊本地震後2年ぶりの実施。花壇にはシバザクラ280本をはじめ、ケイトウ、マリーゴールド、ペチュニアなど、様々な種類の花の苗が計400本以上植え込まれ、村民の皆さんや観光客の目を楽しませてくれます。

古沢社長は「地元企業として地域の皆さんに喜んでいただけるような奉仕活動を今後も続けていく」と話しています。

4/26 税の収納率向上を期待
税務併任徴収辞令交付

県北広域本部収税課職員へ辞令を手渡す吉良村長

阿蘇郡市7市町村と県で取り組む併任徴収の辞令交付式が行われ、吉良村長が県北広域本部収税課の職員に辞令を手渡しました。

辞令交付後、吉良村長が「税の収納率向上のため、ご尽力いただきたい」とあいさつ。

本年2月に阿蘇郡市7市町村で併任徴収の協定を締結しており、今後は、県と阿蘇郡市7市町村の税務担当者を交互に派遣し、財産の差し押さえなど、滞納税の徴収強化に努めます。

4/25 治水と観光を担うダムへ
「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会設立総会

協議会設立総会の様子

「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会の設立総会が、役場大会議室にて行われました。

同協議会は、阿蘇・立野峡谷の自然環境がもつ観光資源と立野ダム建設事業とを連動させた新たな観光商品やインフラツアーなどの商品化により、より多くの観光客を誘引し、地域振興に繋げることを目的として設置。

第1弾の商品として、手のひらサイズのカードに立野ダムの写真や説明が印刷された「ダムカード」が発表されました。このカードは、南阿蘇鉄道立野駅前のニコニコ屋にて配布が開始されています。

5/17 田んぼを舞台に走って跳んで
中松小学校ドロリンピック

ボールを抱えて走る児童たち

競技終了後の中松小学校5、6年生

中松小学校5、6年生による「ドロリンピック」が、学校近くの水田で開催されました。

総合的な学習の時間で取り組むもち米作りの一環として田をかき混ぜる「代かき」の意味を持たせながら行われた競技は、ボールリレー、鬼ごっこ、馬跳び。児童たちは全身泥だらけになりながら笑顔で田んぼを駆け回っていました。

最後は皆で肥料の油かすをまき、次週に行われる田植えの準備となりました。

5/16 お互いを盛り上げる1年に
2018ロアッソ熊本「火の国もりあげタイ！」表敬訪問

サイン色紙やフラッグなどをいただいた表敬訪問式

村は今年、プロサッカーチーム「ロアッソ熊本」の地域おこしプロジェクト「火の国もりあげタイ！」の実施自治体となっています。

担当選手として任命を受けた11人の中から、5人の選手と、株式会社アスリートクラブ熊本の永田求代表取締役社長が村を訪問。役場大会議室にて記念品のフラッグなどをご贈呈いただいたほか、あそ望の郷くぎのにて来場者との交流が行われました。

ロアッソ熊本と村は相互の盛り上げを目指し、今後も様々な連携を図ります。